

源氏千年の縁

式部のまちにかける人たち

源氏物語千年紀委員会の面でも、紫式部公園内の石碑特別委員になった経緯は、や式部七橋のレリーフなど、

今日まで長年にわたり、紫式部や源氏物語にまつわる越前市内の取り組みが高く評価され、委員会から委嘱を受けた。京都と連携し情報交換しながら本市ならではの事業を展開し、「式部と出会うまち」を全国に発信したい。

千年紀に対する市の具体的な取り組みは、紫式部顕彰会など市民活動が蓄積されており、新しい組織をつくるのではなく、熱心な取り組みを行っている住民との連携を強化し官民協働で事業を推進していく。ハード

築きたい。

越前市の魅力を伝え活性化に期待を寄せる奈良市長



源氏物語千年紀
委員会特別委員

奈良 俊幸 越前市長

誇り認識し地域活性化

国府が置かれ式部が過アピールするには、紫式部は歴史をどう生かすのか。分かりやすい素材。千年紀を本市の強みはものづくりと契機に、古くから越前国の中歴史文化。伝統産業が連綿と心として国府が置かれ、地方受け継がれ、物語の執筆に色政治の拠点、文化産業の先進濃く影響を与えた地。これを地でもあった地域の誇りを再

認識し、越前ブランド力の付加価値を高めてもらうことが狙い。

「機運をどのように盛り上げていくのか。」

公会堂記念館の特別企画展や図書館の連続講座では多くの入場、参加者でにぎわい、市民の関心の高まりと考え、手応えを感じている。市の活性化へつなげていく絶好の機会ととらえ、市のセールスポイントを地域や世代を超えて市内外に強く発信していく。市民と力を合わせ、一過性でなく息の長い取り組みにしたい。

◇源氏物語千年紀委員会
会◇紫式部の偉業をたたえ、国内外に与えた影響を検証し次代へつなぐと、茶道の千玄室氏や哲学者の梅原猛氏ら八人の有識者が発起人となり、昨年一月に発足した。